



第835号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール roren@knsu.jp
ホームページ http://knsu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局

**4月30日(木)10:00~11:30 第8回 検数労連26春闘交渉。
両協会に対し、再度賃金引上げに向けた修正回答と組合諸要求の修正回答
を求める！**

【第8回交渉】

4月30日(木) 第8回検数労連26春闘で、組合は両協会に対し、前回交渉時に提示された有額回答に対する修正と、諸要求に対する回答の提示を求め交渉を行いました。

【全日検】

前回交渉時に有額回答を提示したが、組合から修正を求められ持ち帰り検討した。しかしながら、現在、中東問題等で経済状況が不安定な中でこれ以上の修正回答は困難を極めるものであることをご理解願いたい。

諸要求に対する回答は、別途、文書にて提示する。

【日検協会】

前回の交渉で労組より修正回答の提示を求められ持ち帰り検討したが、現回答は従業員の奮起を促すものであると同時に協会の持続発展を目指した内容となっている。よって、これ以上の修正回答は困難であると言わざるを得ないことを理解願いたい。

諸要求に対する回答は、別途、文書にて提示する。

【組合】

組合は、両協会からの回答を受け、休憩を挟み賃金引上げ・諸要求回答を分析。
次のとおり主張をしたうえで、再度、両協会に対し、賃金引上げ・諸要求を含めた修正回答を提示するよう求めました。

【両協会に対して】

あらためて賃金引上げ、諸要求の修正回答を求める。
本日の回交で金額の修正が示されなかったことは極めて残念である。職場で奮起する従業員の思いに十分に寄り添ってないと判断する。

賃金引上げについては、組合員の生活防衛であるとともに検数の事業基盤を安定させるうえで極めて重要な位置付けにあると同時に、組合員の仕事へのモチベーションを高め、人員の定着や離職率を低下させる面があることを強調する。

労働集約型企業においては、人材こそが企業の価値を生み出す最も重要な原動力である。賃金面のみならず、福利厚生の実通じて、生活と将来への安心を支える明確な方向性を、責任をもって打ち出すべきである。

『安全はすべてにおいて優先す

る』という基本的理念を遂行する職場風土と土壌を、中央・地域それぞれが労使で責任を持って形成していかなければならない。

そのうえ、従業員の命と健康を守るために、現場の実態に則した協議を十分にできる場を設け、安全対策や職場環境の改善について継続的に議論を進めていくことを強く求める。

物価上昇が続くなかで可処分所得の確保は切実な問題となっており、厚生年金保険料の労使負担割合の改善については、企業側にも相応の負担が生じる課題であることは理解しているが、その負担軽減は重要な課題である。

【全日検に対して】

諸要求項目の適正料金収受に関して、人員確保を進めていくうえで、適正な料金収受の取り組みは切り離すことのできない重要な課題である。厳しい経営環境が続くなか、これまで以上に踏み込んだ対応を求める。

【日検協会に対して】

職場から、若年層の賃金引上げ水準に対する不満が上がっている。将来にわたる人員確保・定着の観点からも全体的な賃金水準の底上げを含めた対応を求める。

次回交渉:5月8日(金)10:00~ 第9回 検数労連26春闘交渉